

電位・温熱組合せ家庭用医療機器

ケアウェーブ

すこやか
健

CARE WAVE

HIGH FREQUENCY & THERMO THERAPY

添付文書

取扱説明書



管理医療機器
電位・温熱組合せ家庭用医療機器 (JMDNコード:71001000)

ケアウェーブ

医療機器認証番号 224ACBZX00044000

目次

正しく安全にお使いいただくために	3
1. 一般的注意事項	5
2. 使用前のご注意	7
3. 使用中のご注意	9
4. 使用後のご注意	10
5. 保管方法及び有効期間等	10
6. 取扱上のご注意	11
7. 保守・点検に係る事項	12
ケアウェーブ(健)の構成内容・仕様	14
本体各部名称とはたらき	16
温熱・高周波パッド導子を使用する場合	
ご使用前の準備	18
高周波モードの操作方法	20
温熱モードの操作方法	22
交互モードの操作方法	24
電床マットを使用する場合	
ご使用前の準備	27
高周波モードの操作方法	28
温熱・高周波マットを使用する場合 (別売オプション品)	
ご使用前の準備	31
高周波モードの操作方法	32
温熱モードの操作方法	34
交互モードの操作方法	36
故障かな?と思ったら	39
お客様安心サービス	40
・保証書とユーザー登録カードについて	
・アフターサービス	
・ISO認証取得・健康セミナー	

このたびは「ケアウェーブ(健)」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。



禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

	高周波	温熱	交互
・糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人	×	×	×
・重度な血行障害のある部位		×	×
・中程度以上の重い浮腫のある部位		×	×
・血友病などの出血性素因の高い人		×	×
・心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人	×		×
・温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人	×	×	×
・金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ人	×		×
・乳幼児（6才以下）	×	×	×
・適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人		×	×
・その他、医師が不相当と認めた人	×	×	×

併用禁忌

・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×		×
・心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×		×
・補聴器は外してください。	×		×
・他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×	×

正しく安全にお使いいただくために

- あなたや他の人への危害や、財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



は、修理点検の確認をお願いする絵表示です。

この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

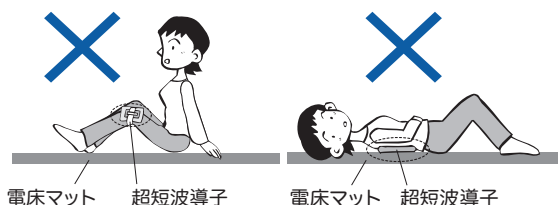
1. 一般的注意事項

危険

⊘ 過度に湿度の高い所では使用しないでください。

⊘ 温熱・高周波マットや電床マットの上では、超短波（マイクロ波を含む）を使用しないでください。

マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（マットが本体に接続されていない場合も同様です）



⊘ 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。

例) 他の電位（高周波・負電荷を含む）
電床マット、電気毛布や敷布、電気カーペット

電気毛布や電床マットが焦げて火傷や火災などの恐れがあります。

⊘ 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、マット同士を重ねた状態で使用しないでください。

⊘ マットやパッド導子は、金属製のイスや湿った布団など電気を通しやすい物の上や下で使用しないでください。

警告

⊘ 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

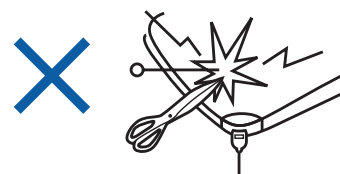
⚠ マットや電床マットが濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてから使用してください。ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど急激な乾燥はしないで、陰干しなど自然に乾燥させてください。

⊘ 高周波モードと温熱モードは連続して8時間以上、交互モードは12時間以上は使用しないでください。

電源を入れたまま放置すると機器の寿命を縮めたり、事故の原因となります。

⊘ マットやパッド導子に金属を接触させたりプロテクターや出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、マットやパッド導子のコードには金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。



⊘ 本体背面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上に置いたり、布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないでください。

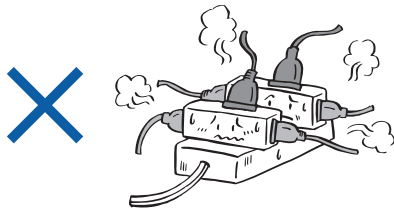
本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

1. 一般的注意事項 (つづき)

警告

- ⊘** 本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に、使用しないでください。
本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。
- ⊘** 交流100V、50/60Hz以外では使用しないでください。
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。
- ⊘** コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。
タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をするとも器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。



- !** 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。
操作を誤ると事故や故障の原因となります。
- ⊘** 本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。
- ⊘** 本体の出力口に差し込んだプラグやプロテクター、コネクターなどを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。
プラグや出力口、プロテクターやコネクターが破損し、事故や故障の原因となります。

警告

- ⊘** 電源コードなど全てのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。
- ⊘** 電源コードなど全てのコードのプラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないでください。
発火・ショートの原因となります。
- ⊘** 保護者、医師または専門家の監督下以外では、子供に使用させないでください。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。
- ⊘** 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットなどが焦げるなど事故の原因となります。
- ⊘** 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。
特にペットへの使用は避けてください。

注意

- !** 高温設定で長時間使用すると皮膚に低温やけどが生じることがあります。
- !** 治療部位や症状、治療に適した時間や高周波・温熱の出力レベルなどは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた時間を超えないようにしてください。不明な点はお買い求めの販売店またはお客様センター（裏表紙）に相談してください。

注意

- ❗ 梅雨期や湿気の多い地域では、マットやパッド導子を十分乾燥させるなど、絶縁状態をできるだけよくしてください。絶縁状態が悪くなると効果が半減します。
- 🚫 本器は、一人用の家庭用医療機器です。複数の人が同時に使用しないでください。
- ❗ 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。

注意

- ❗ 他の電気製品とはできるだけ（2m以上）距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常をきたしたり、逆に電気製品の影響で治療器に異常が発生する恐れがあります。
- 🚫 使用中は他の人や金属類に触れたり、リモコンや電話機を操作したりしないでください。
ピリッとしたり、ノイズを発生させたり、故障の原因となります。

本器を設置する際は、次の点に注意してください。

警告

- 🚫 水のかからない場所に設置してください。

注意

- ❗ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないよう、安定状態に注意してください。

注意

- ❗ 温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。

2. 使用前のご注意

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

警告

- ❗ 病名などがはっきりしない人
- ❗ 悪性腫瘍のある人
- ❗ 心臓に障害のある人
- ❗ 妊産婦
- ❗ 体温38°C以上（有熱期）の人
例1) 急性炎症症状【倦怠感、悪寒、血圧変動など】の強い時期
例2) 衰弱しているとき
- ❗ 安静を必要とする人
- ❗ 血管障害の恐れのある血圧異常の人


警告



- ❗ 血圧異常の人
- ❗ 低温やけどをしたことのある人
- ❗ 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性【疼痛性】疾患の人
- ❗ その他医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人
- ❗ 1時間以上使用する場合、次の人は、医師と相談の上使用してください。
 - ・高血圧の人
 - ・不整脈のある人
 - ・睡眠時無呼吸症の人
 - ・喘息の人
 治療中眠ってしまい緊急時に対応できない場合があります。
- ❗ 寝たきりの人

正しく安全にお使いいただくために



2. 使用前のご注意 (つづき)



次の人は介護者のもとで使用してください。



  マヒなどで身体の自由が利かない人



  7～12歳の子供



次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

  皮膚知覚が低下している人や部位

  認知症の人や意思表示ができない人

  判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人

  睡眠薬を飲んだ人
判断能力を欠き事故の原因となります。



  次のものを身につけたまま使用しないでください。


- 使い捨てカイロ
- 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
- 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン®繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）


また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。



- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
- 磁気入り布団
- 墨入り（炭素材など）の畳
- ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。


  マットやパッド導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクターの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。販売店または製造販売元へお問い合わせください。

 全てのコードは容易に離脱しないように、正しく確実に接続してください。発火やショートなどの原因となります。

 スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認してください。

  しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

 マットは正しく使用してください。また、パッド導子を使用する際は正しく装着してください。

※ 「サンダーロン」、「ジャンヌ・ダルク」は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

警告

⊘ 使用しない付属品は、機器に接続したり、身体に接触させたりしないでください。

注意

⊘ 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。

⊘ マットやパッド導子が濡れている場合には使用しないでください。

注意

⚠ ごくまれに使用時に漏電ブレーカーが誤作動し、テレビやラジオなどに雑音が入ることがあります。また、部屋の絶縁が悪いと出力が止まることもあります。この場合は機能端子を接続します。詳細はお買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

⚠ 他の治療器の近くでは使用しないでください。特に超短波(マイクロ波含む)治療器の近くで使用すると、ごくまれに誤作動やエラー表示になることがあります。その場合は、再度電源を入れ直して使用してください。

3. 使用中のご注意

警告

⚠ マジックベルト〈L〉は天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。

このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

また、腕に巻くときは、かぶれや炎症などのある部位は避けてください。

⚠ 温熱モードで使用する際は、導子を皮膚に直接あてず、衣服や布、導子カバーを介して使用してください。

⚠ 本器に異常を感じたとき（異常な音がる・熱がある）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

⚠ 治療目的にあった治療時間・量を超えないように注意してください。

⚠ 身体に異常を感じたり、現れたりしたとき（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。

⊘ 使用中コード類の抜き差しをしないでください。

感電や発火の原因となります。

⚠ 雷や地震、停電時は使用を中止し、電源を切ってから電源コードをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。


⊘ 本体をストーブなどの火気の近くや直射日光のあたる所などには置かないでください。


熱による本体の変形など事故の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

4. 使用後のご注意


注意

 電源を切った後に、電源コードをコンセントから抜いてください。

 コード類の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。





 次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管してください。


また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。


変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

注意

 スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。

 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「7. 保守・点検に係る事項」を参照してください。


 使用を中断する場合や使用後は必ずマットやパッド導子、接続コードのプラグを本体から抜いてください。電源プラグもコンセントから抜くなど、使用前の状態に戻してください。

 導子カバーは定期的に洗濯するなどして、常にきれいな状態でご使用ください。

5. 保管方法及び有効期間等


保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。


注意

 温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に保管してください。

故障の原因になることがあります。

注意

 長期間ご使用にならない場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

 お子様の手の届かない所に保管してください。

落としてけがや破損の原因となります。

6. 取扱上のご注意

警告

！ 本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないで買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

⊘ 本体ケースは絶対に開けないでください。
内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

！ 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

⊘ マットやパッド導子は、強く折りたたんだり、きつく丸めたり、極度に変形させたり、重い物を乗せたりしないでください。

⊘ マットやパッド導子にアイロンをかけたり、アイロン台の代わりにしないでください。

⊘ 濡れた手で本体の操作をするのは、絶対におやめください。
感電する恐れがあり非常に危険です。

警告

⊘ ナフタリンなどの防虫剤と一緒に保管しないでください。

！ 一度使用した医療機器(中古医療機器)を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注) 販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けが必要です。さらに、中古医療機器を取り扱う場合は、「古物営業法」の許可が必要です。




！ 機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。




⊘ 機器を他の物にぶついたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。
誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。

正しく安全にお使いいただくために

6. 取扱上のご注意 (つづき)




温熱・高周波マットの取扱いについて



- 警告**
-  マットが尿や水で濡れたり、湿っている場合は使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。十分に乾燥させてから使用してください。
 -  マットは敷きっぱなしにしないでください。カビなどの発生原因となります。特にフローリングで使用する場合はご注意ください。
 -  マットの収納は、湿気の少ない場所にしてください。
マットを3つ折りにして、できるだけ空気層を保つよう上方に、収納してください。

- 警告**
-  長時間使用しない場合は、十分に干して湿気を放出して、保管してください。
ふとん用圧縮袋やナフタリンなどの防虫剤は使用せず、湿気の少ない場所に保管してください。
 -  マットを干す場合は、風通しの良い日陰の場所にしてください。
特にプロテクターは直射日光を当てないでください。変色、変形の原因となります。また、内部構造品の損傷を防止するため、ふとん叩きを使用しないでください。
 -  マットは取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。



7. 保守・点検に係る事項


注意事項



- 警告**
-  本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。
故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。
 -  本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
 -  本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電などの事故の原因となります。

- 警告**
-  愛情点検 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。
使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。
-  3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。



使用者による保守点検事項



警告   機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

 しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。

警告   事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は、必ずお買い求めの販売店または製造販売元にご連絡ください。

業者による保守点検事項

注意   性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお買い求めの販売店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。

注意   消耗部品（付属品を含む）は定期的（3年を目安）に交換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による

交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
電床マット〈L・グレー〉	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められたとき 購入から3年が目安
温熱・高周波パッド導子〈L・グレー〉		
導子カバー〈L・温熱・高周波パッド導子・グレー用〉		
マジックベルト〈L〉		
電源コードA		

ケアウェーブすこやか(健)の構成内容・仕様

本器を初めてご使用前に、以下のものが揃っているか必ずご確認ください。

本体

※本体の各部名称とはたらきについては
P.16~17をご覧ください。



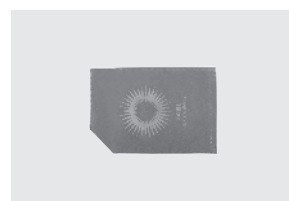
標準付属品



電床マット(L・グレー)



温熱・高周波パッド導子
(L・グレー)



導子カバー
(L・温熱・高周波パッド導子・グレー用)



マジックベルト(L) x2



電源コードA

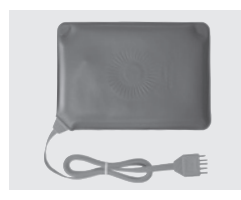
別売オプション品



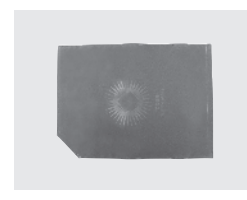
温熱・高周波マット



接続コード
(温熱・高周波マット用)



温熱・高周波パッド導子
(LL・グレー)



導子カバー
(LL・温熱・高周波パッド導子・グレー用)



電床マットカバー



マットカバー
(温熱・高周波マット用)



装着ベルト(L・AW)

主な仕様

定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	高周波：15W 温熱・高周波パッド導子使用時：23W、温熱・高周波マット使用時：100W
本体寸法	(約) 幅280mm×高さ120mm×奥行き280mm
本体重量	(約) 2.5kg

●高周波モード

高周波出力	弱:350V(実効値) 中:500V(実効値) 強:800V(実効値) 1100V(ピーク値)
タイマー	温熱・高周波パッド導子使用時：15分/30分/45分/1時間 電床マット使用時：15分/30分/1時間/4時間/8時間 温熱・高周波マット使用時：1時間/2時間/4時間/8時間

●温熱モード

温熱出力	温熱・高周波パッド導子使用時：設定最高温度58℃ (※JIS T 2008に準じて測定) 温熱・高周波マット使用時：設定最高温度55℃ eスリープ機能：あらかじめ決められたプログラムにより温熱出力が自動的に変化 (温熱・高周波マット使用時のみ)
タイマー	温熱・高周波パッド導子使用時：15分/30分/45分/1時間 温熱・高周波マット使用時：4時間/5時間/6時間/7時間/8時間

●交互モード

高周波出力	弱:350V(実効値) 中:500V(実効値) 強:800V(実効値) 1100V(ピーク値)
温熱出力	温熱・高周波パッド導子使用時：設定最高温度58℃ (※JIS T 2008に準じて測定) 温熱・高周波マット使用時：設定最高温度55℃ eスリープ機能：あらかじめ決められたプログラムにより温熱出力が自動的に変化 (温熱・高周波マット使用時のみ)
タイマー	温熱・高周波パッド導子使用時：15分/30分/45分/1時間 温熱・高周波マット使用時：6時間/7時間/8時間/9時間/10時間/11時間/12時間

使用目的 又は効果

使用目的:一般家庭で使用するこ

高周波(電位) … 頭痛・肩こり・不眠症及び慢性便秘の緩解

温熱 …… 電熱による温熱効果

- ・疲労回復 ・血行をよくする ・筋肉の疲れをとる ・筋肉のこりをほぐす
- ・神経痛、筋肉痛の痛みの緩解 ・胃腸の働きを活発にする

ケアウェーブすこやか (健)の特長

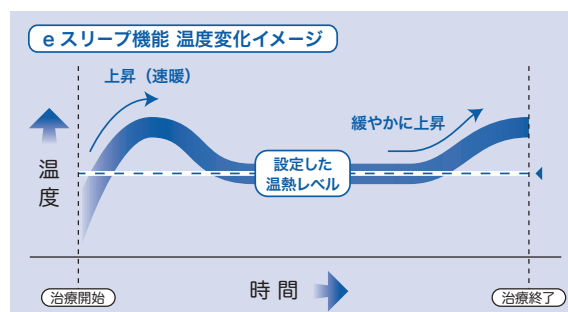
- LED自動減灯・消灯機能 … パネル表示の明るさを自動プログラムによって調節します。(温熱・高周波マット、電床マット使用時のみ)
- 前回使用モード記憶機能 … 前回使用した治療モード、時間を記憶することで、次回設定のわずらわしさを軽減します。

- 蓄光塗料採用パネル … パネルに蓄光塗料を採用し、暗い室内でも操作が行えるよう配慮しています。(蓄光塗料の発光持続時間は、光の照射時間によって変わります。)

- エラー検知機能 …… 本体と導子が正しく接続されていないときにエラー表示でお知らせします。

- eスリープ機能 …… 治療時間を設定すると、快適な治療環境を整えるために、治療開始から治療終了までの温度が自動で調整されます。

- 高周波タッチチェッカー … 治療中に高周波が正常に出力されているか確認することができます。

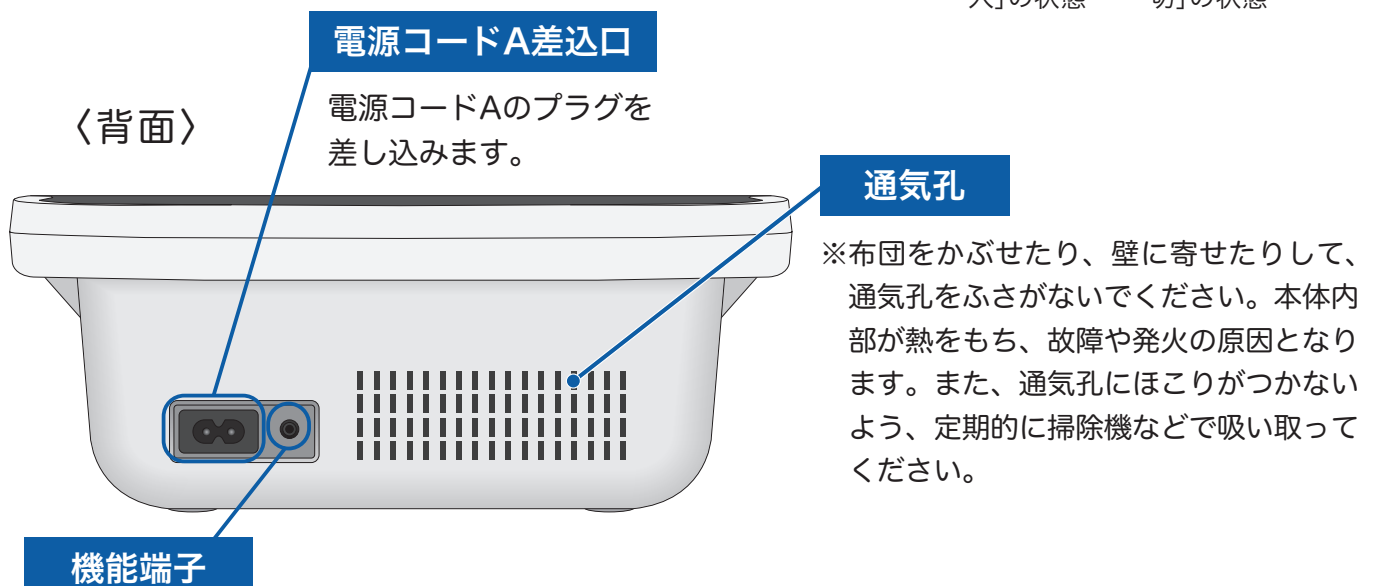


本体各部名称とはたらき

〈正面〉

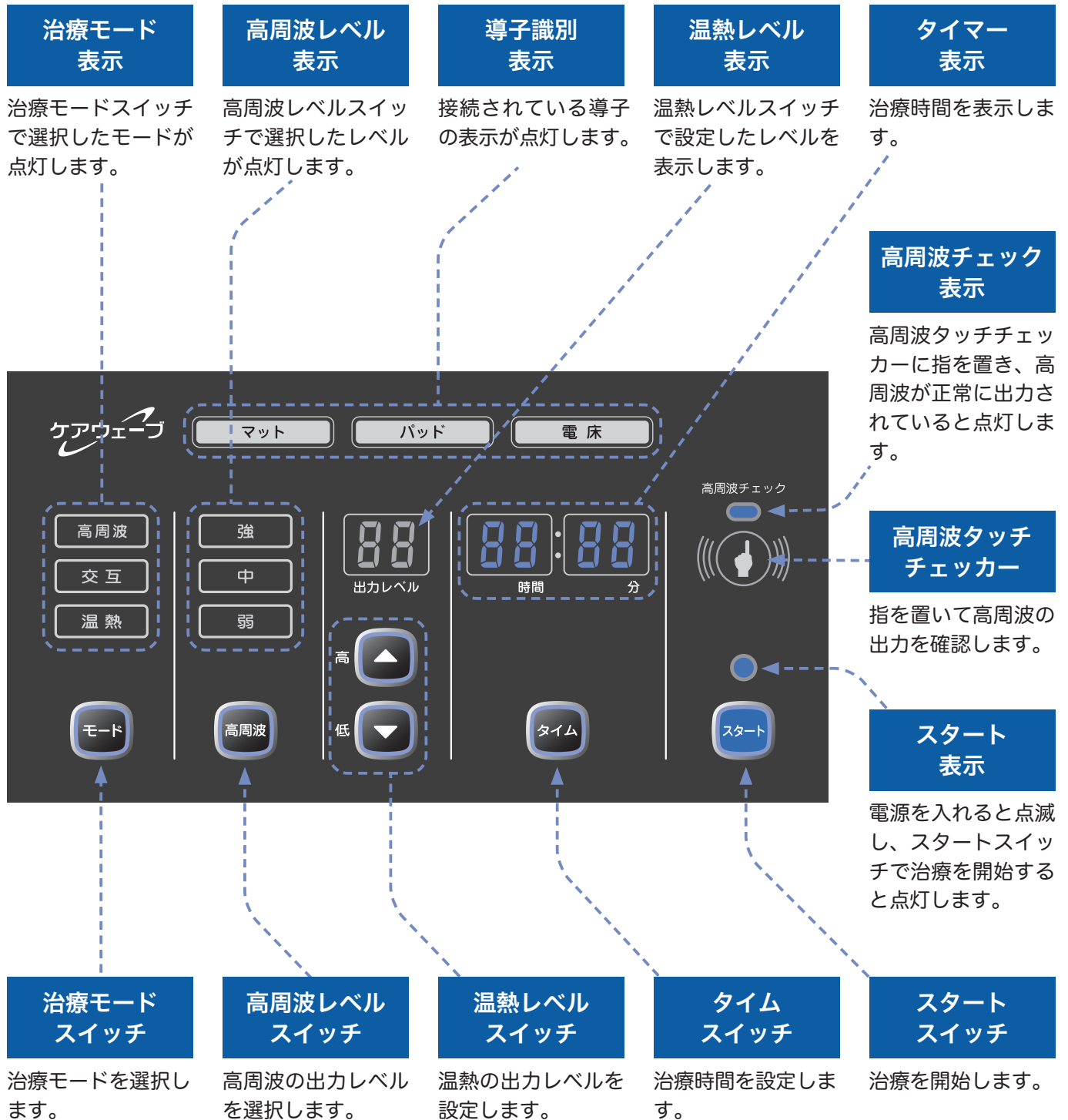


〈背面〉



使用時に漏電ブレーカーが誤作動し、テレビやラジオなどに雑音が入ることがあります。また、部屋の絶縁が悪いと発振が止まることもあります。この場合は機能端子を接続します。詳細は販売店または製造販売元にご相談ください。

〈操作パネル〉

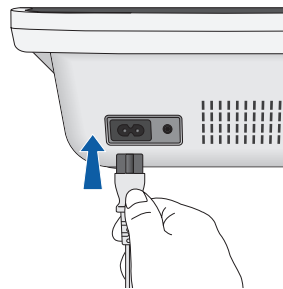


温熱・高周波パッド導子
を使用する場合

ご使用前の準備

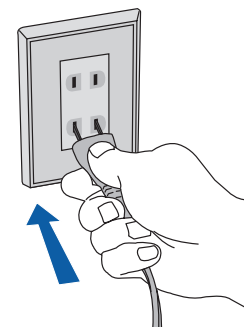
1 電源コードAのコネクターを
本体の電源コードA差込口に差し込みます。

電源コードAのコネクターを持って、本体背面の電源コードA差込口に根元まで確実に差し込みます。



2 電源コードAのプラグをコンセントに差し込みます。

本体の電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源コードAのプラグを持って、100Vコンセントにしっかりと差し込みます。



3 温熱・高周波パッド導子を導子カバーに入れます。

①温熱・高周波パッド導子の☀️マーク側と導子カバーの☀️マーク側を上向きにし、パッド導子のプラグとコードをカバーの穴に通します。

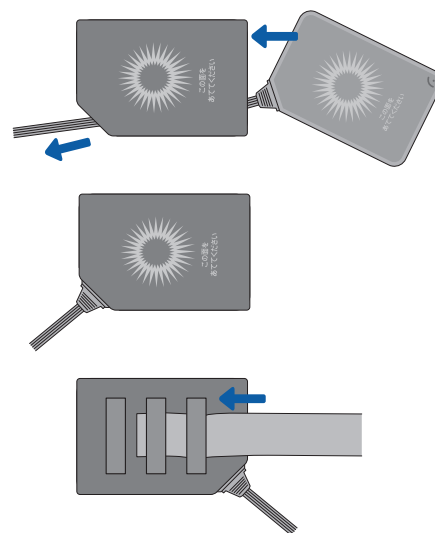
②温熱・高周波パッド導子全体を導子カバーに納めます。

③導子カバーのベルト通しにマジックベルト<L>を通します。

※温熱・高周波パッド導子は必ず導子カバーに入れて使用してください。

※無理にコードを引っ張らないでください。

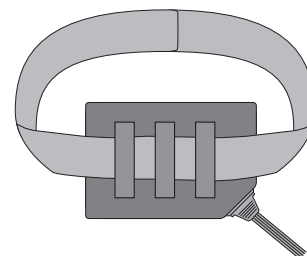
※別売オプション品の温熱・高周波パッド導子<LL・グレー>は、導子カバー<LL・温熱・高周波パッド導子・グレー用>に入れて使用してください。



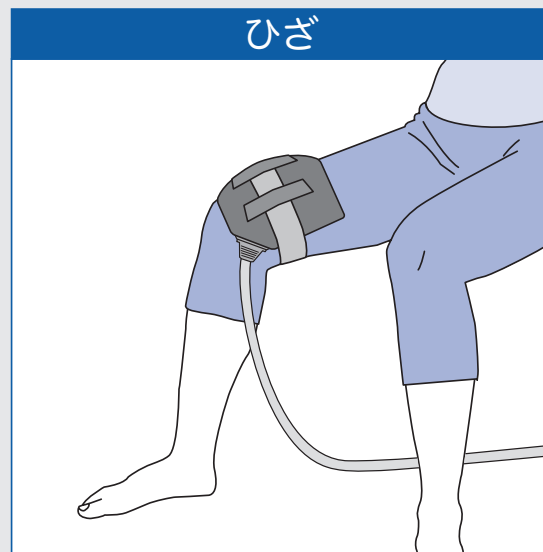
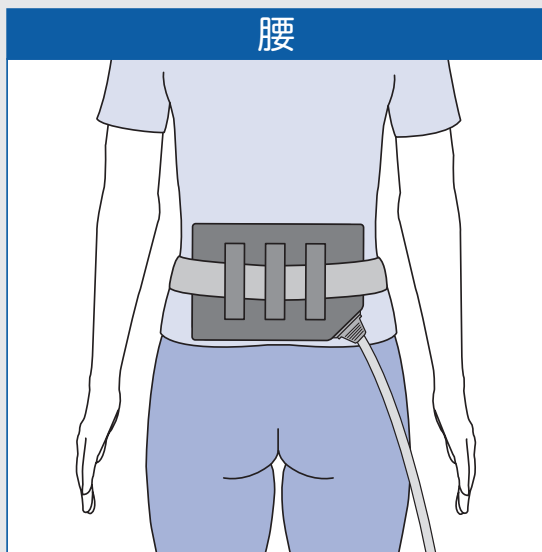
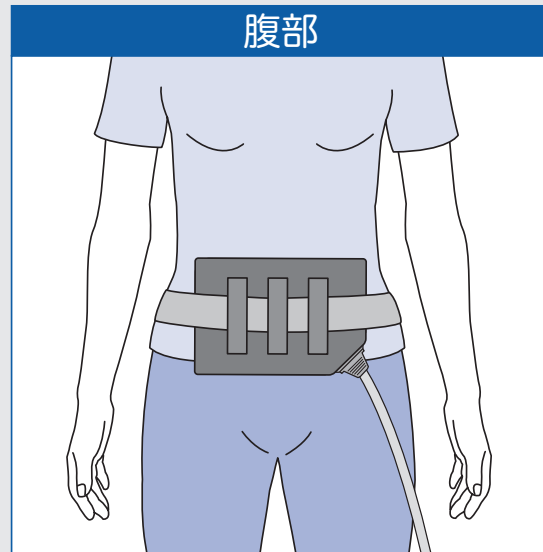
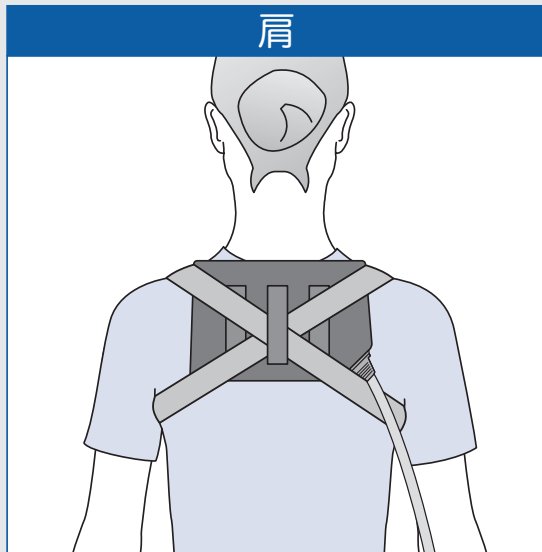
4 治療する部位に温熱・高周波パッド導子をあてます。

温熱・高周波パッド導子を治療部位にあて、マジックベルト<L>のマジックテープ部分を貼り付けて固定します。

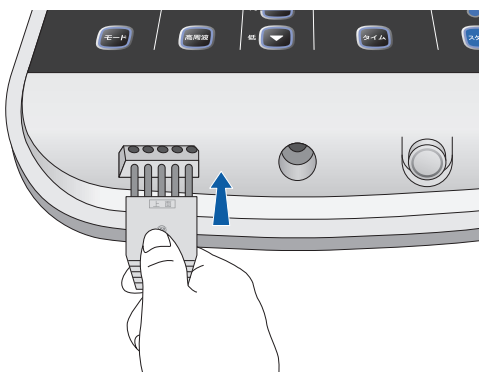
※治療の際は、必ず導子カバーと温熱・高周波パッド導子の☀️マーク側を身体側にしてください。☀️マーク側が身体側にきていないと、十分な治療効果が得られません。



〈基本的な使用例〉

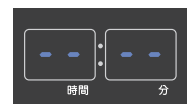


5 温熱・高周波パッド導子のプラグを本体の温熱・高周波出力口に差し込みます。



⚠ 温熱・高周波パッド導子のプラグが本体に正しく確実に差し込まれていないと、電源を入れたときに導子識別表示が全て点滅し、パネルの操作が行えません。

⚠ 治療をスタートした後に温熱・高周波パッド導子のプラグが本体から抜けてしまった場合、タイマー表示にエラーが表示されます。



➔ 本体の電源スイッチを切り、温熱・高周波パッド導子のプラグを差し込み直してください。

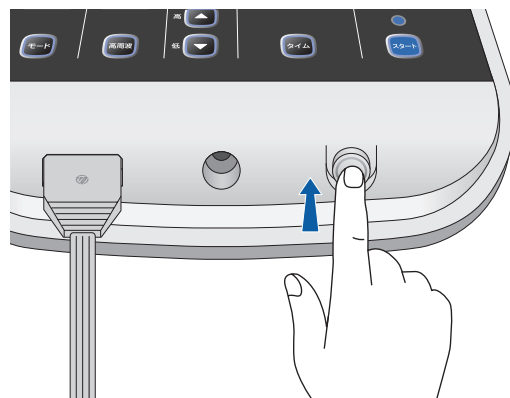
温熱・高周波パッド導子
を使用する場合

高周波モードの操作方法

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「パッド」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「00時間15分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 モード を押して高周波を選択します。

①治療モードスイッチを押し、高周波モードを選択

治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のように変わります。「温熱」→「交互」→「高周波」

②高周波モードが選ばれ、高周波モード表示が緑色に点灯していることを確認



3 高周波 を押して出力する高周波のレベルを選択します。

①高周波レベルスイッチを押し、出力する高周波のレベルを選択

高周波レベルスイッチを押すたびに高周波レベル表示が次のように変わります。「弱」→「中」→「強」

出力する高周波のレベルは次のようになります。(実効値)
弱：350V 中：500V 強：800V

②選択した高周波出力のレベルの表示が、緑色に点灯していることを確認



治療に際して のご注意

- 使い始めのうち「弱」に設定し、徐々に身体を慣らしていく事が大切です。
- 強い出力で長時間使用されても効果が増すというものではありません。

4 **タイム** を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

高周波モードでは次の治療時間が設定できます。

・15分 ・30分 ・45分 ・1時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。

「15分」→「30分」→「45分」→「1時間」

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

5 **スタート** を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

②スタート表示の青色が点滅から点灯になり、治療が開始されたことを確認

※治療の途中でも高周波レベルと治療時間の変更ができます。

※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。

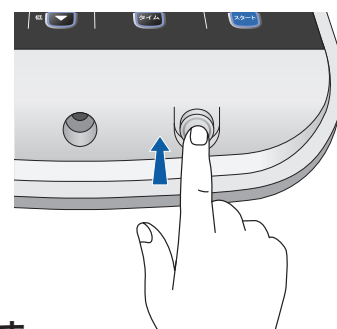
治療中に高周波タッチチェッカーに指を置くと、高周波の出力を確認することができます。正常に出力されていると、高周波チェック表示が点灯します。

※出力の確認をするときは、高周波の出力レベルを「中」にしてください。



6 タイマー表示が「00」時間「00」分になると出力が自動的に切れます。

導子識別表示「パッド」、治療モード表示、高周波レベル表示が点灯し、スタート表示とタイマー表示が点滅状態になります。続けて治療を行う場合は、再度 **2** から始めてください。



7 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。

8 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

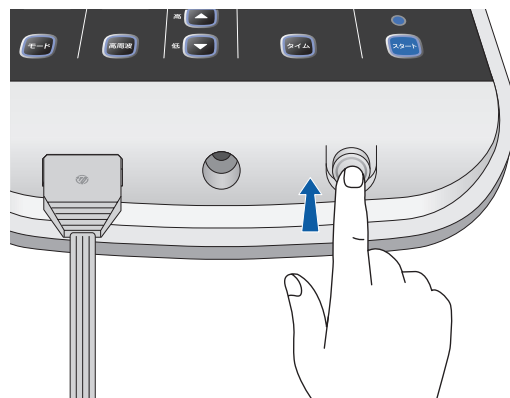
温熱・高周波パッド導子
を使用する場合

温熱モードの操作方法

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「パッド」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「00時間15分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 モード を押して温熱を選択します。

①治療モードスイッチを押し、温熱モードを選択
治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のように変わります。「温熱」→「交互」→「高周波」

②温熱モードが選ばれ、温熱モード表示が橙色に点灯していることを確認



3 高 ▲ 低 ▼ を押して好みの温熱レベルを設定します。

①温熱レベルスイッチを押し、好みの温熱レベルを設定

温熱レベルは01～04まで設定できます。

高 ▲ …温熱レベルを高くします。(長押しでも設定できます)

低 ▼ …温熱レベルを低くします。(長押しでも設定できます)

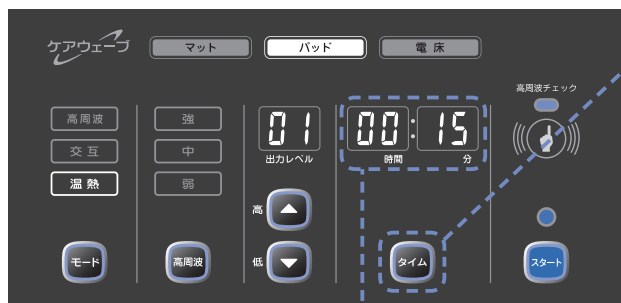
②設定した温熱レベルが表示されていることを確認



治療に際して のご注意

- 温熱レベルが高すぎると汗をかいたり、喉がかわいたり、治療終了後、だるいことがあります。温度調節は控えめに設定してください。
- ご購入後に初めてお使いになる場合や長期間使用しなかった場合、温度が上がりにくいことがあります。機器の異常ではありません。数時間、予熱通電してから使用してください。

4 **タイム** を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

温熱モードでは次の治療時間が設定できます。

・15分 ・30分 ・45分 ・1時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。

「15分」→「30分」→「45分」→「1時間」

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

5 **スタート** を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

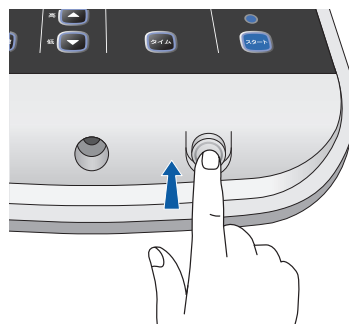
②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、治療が開始されたことを確認

※治療の途中でも温熱レベルと治療時間の変更ができます。
※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。

6 タイマー表示が「00」時間「00」分になると、出力が自動的に切れます。

導子識別表示「パッド」、治療モード表示、温熱レベル表示が点灯し、スタート表示とタイマー表示が点滅状態になります。
続けて治療を行う場合は、再度 **2** から始めてください。

7 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。



8 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

温熱・高周波パッド導子
を使用する場合

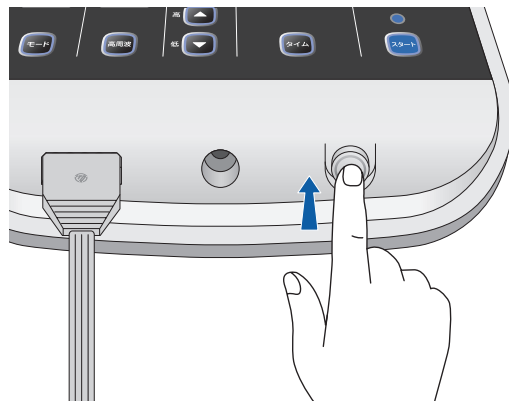
交互モードの操作方法

高周波と温熱の交互治療を行います。

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「パッド」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「00時間15分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 モード を押して交互を選択します。

①治療モードスイッチを押し、交互モードを選択
治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のように変わります。「温熱」→「交互」→「高周波」

②交互モードが選ばれ、交互モード表示が黄色に点灯していることを確認



3 高周波 を押して出力する高周波のレベルを選択します。

①高周波レベルスイッチを押し、出力する高周波のレベルを選択

高周波レベルスイッチを押すたびに高周波レベル表示が次のように変わります。「弱」→「中」→「強」

出力する高周波のレベルは次のようになります。(実効値)
弱：350V 中：500V 強：800V

②選択した高周波出力のレベルの表示が、緑色に点灯していることを確認



治療に際して のご注意

- 使い始めのうちは「弱」に設定し、徐々に身体を慣らしていく事が大切です。
- 強い出力で長時間使用されても効果が増すというものではありません。

4 高 ▲ 低 ▼ を押して好みの温熱レベルを設定します。

①温熱レベルスイッチを押し、好みの温熱レベルを設定

温熱レベルは01～04まで設定できます。

高 ▲ …温熱レベルを高くします。(長押しでも設定できます)

低 ▼ …温熱レベルを低くします。(長押しでも設定できます)



②設定した温熱レベルが表示されていることを確認

**治療に際して
のご注意**

- 温熱レベルが高すぎると汗をかいたり、喉がかわいたり、治療終了後、だるいことがあります。温度調節は控えめに設定してください。
- ご購入後に初めてお使いになる場合や長期間使用しなかった場合、温度が上がりにくいことがあります。機器の異常ではありません。数時間、予熱通電してから使用してください。

5 タイム を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

交互モードでは次の治療時間が設定できます。

・15分 ・30分 ・45分 ・1時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。
「15分」→「30分」→「45分」→「1時間」

↑

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

温熱・高周波パッド導子
を使用する場合

交互モードの操作方法

6 **スタート** を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、
治療が開始されたことを確認

※治療の途中でも高周波レベル、温熱レベル、治療時間の変更ができます。

※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。

※治療開始から6分間は温熱のみ出力されます。

※治療中に「カチッ」というリレー音が出ますが、本体の故障ではありません。

治療中に高周波タッチチェッカーに指を置くと、高周波の出力を確認することができます。正常に出力されていると、高周波チェック表示が点灯します。

※出力の確認をするときは、高周波の出力レベルを「中」にしてください。

※治療開始6分間と、その後、温熱が出力されている時間は高周波の出力の確認はできません。



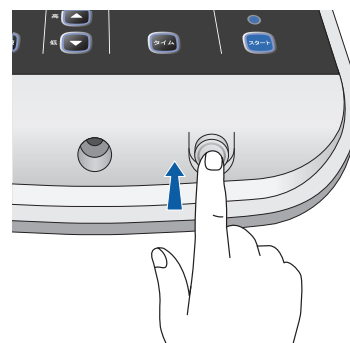
7 タイマー表示が「00」時間「00」分になると、出力が自動的に切れます。

導子識別表示「パッド」、治療モード表示、高周波レベル表示、温熱レベル表示が点灯し、

スタート表示とタイマー表示が点滅状態になります。

続けて治療を行う場合は、再度 **2** から始めてください。

8 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。



9 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

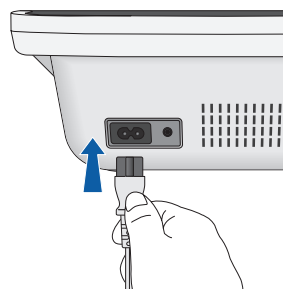
※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

電床マット を使用する場合

ご使用前の準備

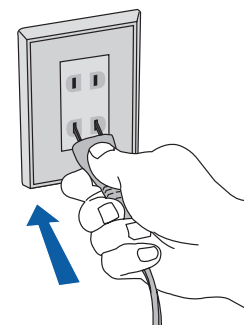
1 電源コードAのコネクターを 本体の電源コードA差込口に差し込みます。

電源コードAのコネクターを持って、本体背面の電源コードA差込口に根元まで確実に差し込みます。



2 電源コードAのプラグをコンセントに差し込みます。

本体の電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源コードAのプラグを持って、100Vコンセントにしっかりと差し込みます。



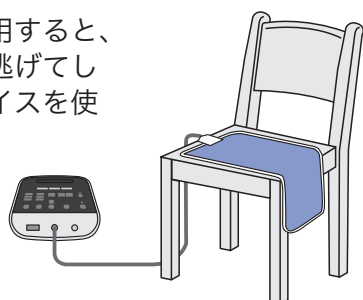
3 電床マットを治療する場所に敷きます。

- ・電床マットは灰色の面を上にして敷きます。
- ・電床マットカバー（別売オプション品）を使用する場合は、電床マットにかぶせます。

〈基本的な使用例〉

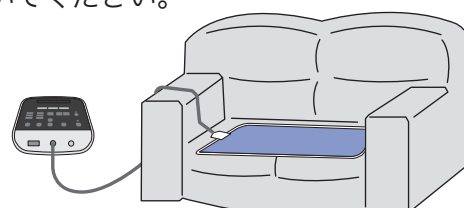
イスの場合

金属製のイスを使用すると、電気エネルギーが逃げてしまいます。木製のイスを使用してください。



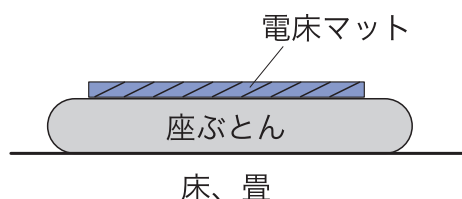
ソファーの場合

表面が布、皮革やビニール製品以外の上では使用しないでください。



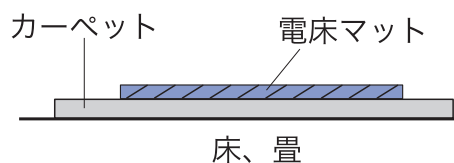
床・畳の場合

座布団の上に敷いてください。



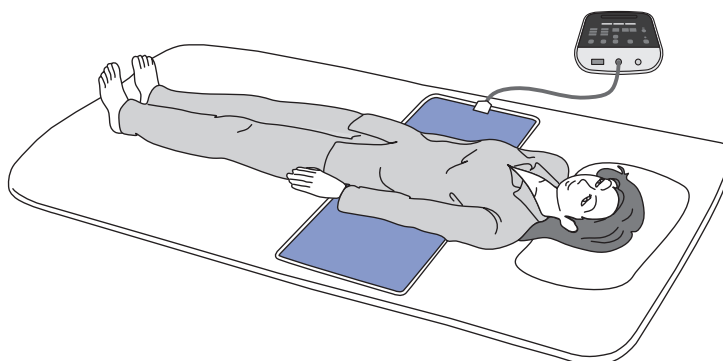
カーペットの場合

電気カーペットの上では絶対使用しないでください。毛足の長いカーペットも避けてください。



ふとんの場合

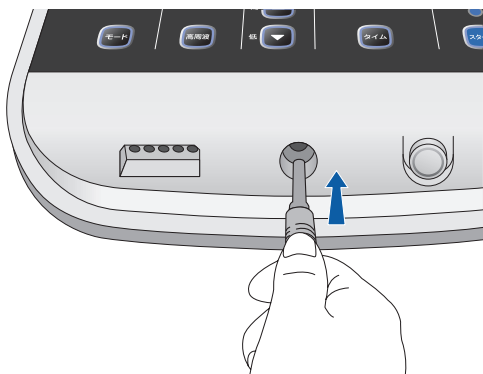
ふとんの上に電床マットを敷いて、その上に横になって使用してください。



電床マット
を使用する場合

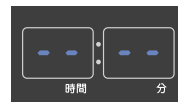
ご使用前の準備

4 電床マットのプラグを本体の高周波出力口に差し込みます。



⚠ 電床マットのプラグが正しく確実に差し込まれていないと、電源を入れたときに導子識別表示が全て点滅し、パネルの操作が行えません。

⚠ 治療をスタートした後に電床マットのプラグが本体から抜けてしまった場合、タイマー表示にエラーが表示されます。



→ 本体の電源スイッチを切り、電床マットのプラグを差し込み直してください。

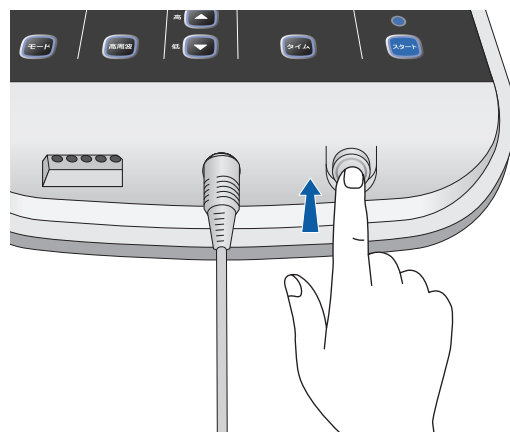
電床マット
を使用する場合

高周波モードの操作方法

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「電床」、治療モード表示、高周波レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「高周波」、高周波レベル表示：「弱」、タイマー表示「00時間15分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 **高周波** を押して出力する高周波のレベルを選択します。

※電床マットを使用する場合は、高周波モード以外は選択できません。

①高周波モードが選ばれ、高周波モード表示が緑色に点灯していることを確認

②高周波レベルスイッチを押し、出力する高周波のレベルを選択

高周波レベルスイッチを押すたびに高周波レベル表示が次のようになります。「弱」→「中」→「強」

出力する高周波のレベルは次のようになります。(実効値)
弱：350V 中：500V 強：800V[変動]

③選択した高周波出力のレベルの表示が、緑色に点灯していることを確認



電床マット を使用する場合

高周波モードの操作方法

3 タイム を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

高周波モードでは次の治療時間が設定できます。

・15分 ・30分 ・1時間 ・4時間 ・8時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。

「15分」→「30分」→「1時間」→「4時間」→「8時間」

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

⚠ 治療に際して の注意

- 使い始めのうちは「弱」に設定し、徐々に身体を慣らしていく事が大切です。
- 強い出力で長時間使用されても効果が増すというものではありません。

4 スタート を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、
治療が開始されたことを確認

※スタート表示が点滅の状態で5分経過すると本体の表示が暗くなります。表示はいずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

※本体の表示は治療開始後、約10秒で暗くなります。さらに1分後、タイマー表示とスタート表示以外は消灯します。表示は、いずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

※治療の途中でも高周波レベル、治療時間の変更ができます。

※治療を途中でやめる場合は、電源スイッチを押して電源を切ってください。

治療中に高周波タッチチェッカーに指を置くと、高周波の出力を確認することができます。正常に出力されていると、高周波チェック表示が点灯します。

※出力の確認をするときは、高周波の出力レベルを「中」にしてください。



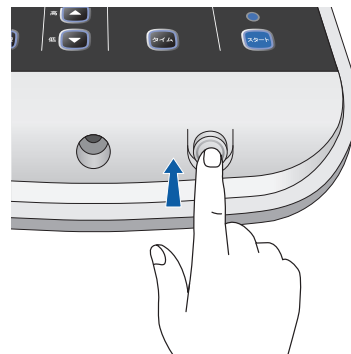
電床マット
を使用する場合

高周波モードの操作方法

- 5** タイマー表示が「00」時間「00」分になると、スタート表示以外が消灯して、出力が自動的に切れます。

スタート表示が点滅状態になります。

続けて治療を行う場合は、電源スイッチ以外のスイッチを一度押して表示が明るくなったことを確認し、再度 **2** から始めてください。



- 6** 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。

- 7** 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

温熱・高周波マット を使用する場合（別売オプション品）

ご使用前の準備

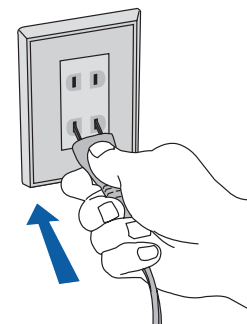
1 電源コードAのコネクターを 本体の電源コードA差込口に差し込みます。

電源コードAのコネクターを持って、本体背面の電源コードA差込口に根元まで確実に差し込みます。



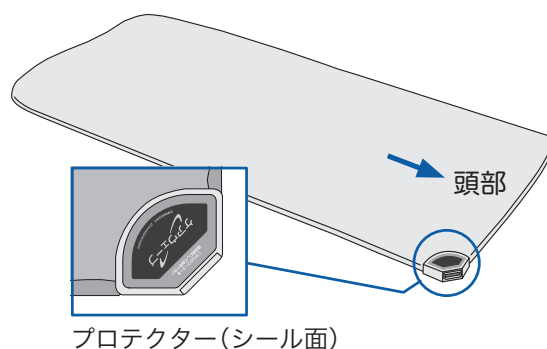
2 電源コードAのプラグをコンセントに差し込みます。

本体の電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源コードAのプラグを持って、100Vコンセントにしっかりと差し込みます。



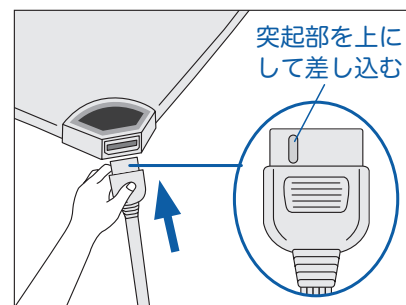
3 温熱・高周波マットを敷きます。

- ・本体及び温熱・高周波マットに異常のないことを確認します。
- ・プロテクターが頭部側に来るように、平らな場所に広げて敷きます。「頭寒足熱」構造のため、敷く位置を天地逆にすると足側が暖まりません。
- ・プロテクターに貼っているシールが表面になるようにします。
- ・マットカバー（別売オプション品）を使用する場合は、温熱・高周波マットにかぶせます。

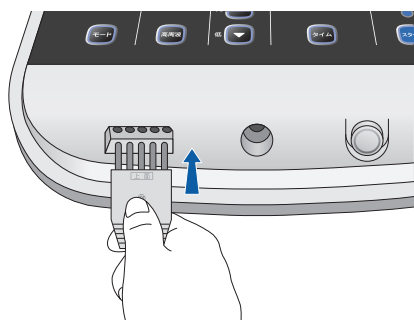


4 接続コードのコネクターをプロテクターに差し込みます。

接続コードのコネクターの突起部を上にして、プロテクターに根元まで確実に差し込みます。

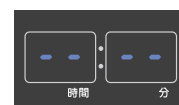


5 接続コードのプラグを本体の温熱・高周波出力口に差し込みます。



! 接続コードのプラグまたはコネクターが、それぞれ本体またはプロテクターに正しく確実に差し込まれていないと、電源を入れたときに導子識別表示が全て点滅し、パネルの操作が行えません。

! 治療をスタートした後に接続コードのプラグまたはコネクターが、それぞれ本体またはプロテクターから抜けてしまった場合、タイマー表示にエラーが表示されます。



→ 本体の電源スイッチを切り、接続コードのプラグまたはコネクターを差し込み直してください。

お知らせ

- 使い始めは、マットに折りぐせ・わずかなにおいなどを感じることがありますが、ご使用に伴い徐々に消えます。
- マットの上や近くで、ラジオ・パソコン・電話機・補聴器などを使用すると、雑音が入ることがあります。このようなときは使用を中止するか、少し離してご使用ください。
- 既成のシーツをご使用になる場合は、フラットシーツをご利用ください。

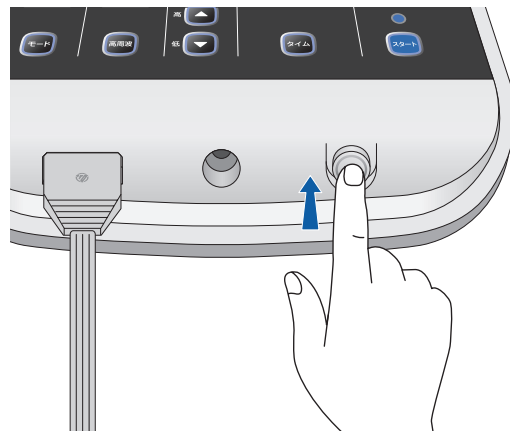
温熱・高周波マット
 を使用する場合（別売オプション品）

高周波モードの操作方法

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「マット」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「04時間00分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 モード を押して高周波を選択します。

①治療モードスイッチを押し、高周波モードを選択

治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のように変わります。「温熱」→「交互」→「高周波」

②高周波モードが選ばれ、高周波モード表示が緑色に点灯していることを確認



3 高周波 を押して出力する高周波のレベルを選択します。

①高周波レベルスイッチを押し、出力する高周波のレベルを選択

高周波レベルスイッチを押すたびに高周波レベル表示が次のように変わります。「弱」→「中」→「強」

出力する高周波のレベルは次のようになります。（実効値）
 弱：350V 中：500V 強：800V [変動]

②選択した高周波出力のレベルの表示が、緑色に点灯していることを確認



**治療に際して
 のご注意**

- 使い始めのうち「弱」に設定し、徐々に身体を慣らしていく事が大切です。
- 強い出力で長時間使用されても効果が増すというものではありません。

温熱・高周波マット
を使用する場合（別売オプション品）

高周波モードの操作方法

4 **タイム** を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

高周波モードでは次の治療時間が設定できます。

- ・1時間 ・2時間 ・4時間 ・8時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。

「1時間」→「2時間」→「4時間」→「8時間」

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

5 **スタート** を押して治療を開始します。



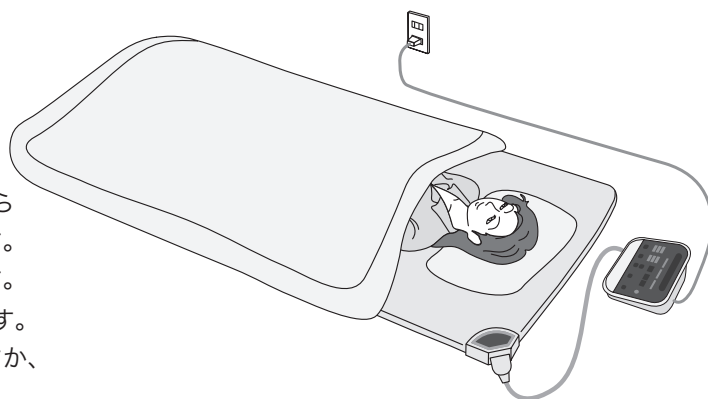
①スタートスイッチを押し、治療を開始

②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、治療が開始されたことを確認

※スタート表示が点滅の状態で5分経過すると本体の表示が暗くなります。表示はいずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

6 頭をプロテクター側にして
温熱・高周波マットに横になります。

※本体の表示は治療開始後、約10秒で暗くなります。さらに1分後、タイマー表示とスタート表示以外は消灯します。表示は、いずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。
※治療の途中でも高周波レベルと治療時間の変更ができます。
※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。



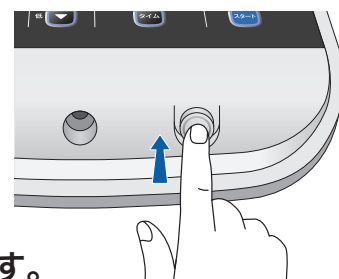
治療中に高周波タッチチェッカーに指を置くと、高周波の出力を確認することができます。正常に出力されていると、高周波チェック表示が点灯します。

※出力の確認をするときは、高周波の出力レベルを「中」にしてください。



7 タイマー表示が「00」時間「00」分になると
スタート表示以外が消灯して、出力が自動的に切れます。

スタート表示が点滅状態になります。
続けて治療を行う場合は電源スイッチ以外のスイッチを一度押して表示が明るくなった事を確認し、再度 **2** から始めてください。



8 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。

9 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

温熱・高周波マット
を使用する場合(別売オプション品)

温熱モードの操作方法

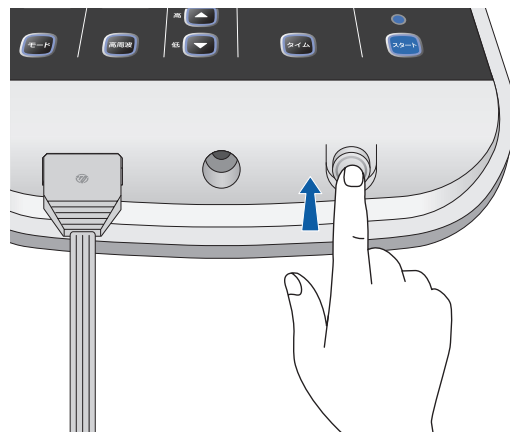
eスリープ機能

温熱モードでは、あらかじめ決められたプログラムにより、自動で温熱出力が調整され、治療開始と終了前は設定した温熱レベルよりも温度が上がります。→P.15参照

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「マット」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「04時間00分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 モード を押して温熱を選択します。

①治療モードスイッチを押し、温熱モードを選択

治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のように変わります。「温熱」→「交互」→「高周波」



②温熱モードが選ばれ、温熱モード表示が橙色に点灯していることを確認



3 高 ▲ 低 ▼ を押して好みの温熱レベルを設定します。

①温熱レベルスイッチを押し、好みの温熱レベルを設定

温熱レベルは01～20まで設定できます。

高 ▲ …温熱レベルを高くします。(長押しでも設定できます)

低 ▼ …温熱レベルを低くします。(長押しでも設定できます)

②設定した温熱レベルが表示されていることを確認



**治療に際して
のご注意**

- 温熱レベルが高すぎると汗をかいたり、喉がかわいたり、治療終了後、だるいことがあります。温度調節は控えめに設定してください。
- ご購入後に初めてお使いになる場合や長期間使用しなかった場合、温度が上がりにくいことがあります。機器の異常ではありません。数時間、予熱通電してから使用してください。

温熱・高周波マット
を使用する場合（別売オプション品）

温熱モードの操作方法

4 タイム を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

温熱モードでは次の治療時間が設定できます。

・4時間 ・5時間 ・6時間 ・7時間 ・8時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。
「4時間」→「5時間」→「6時間」→「7時間」→「8時間」

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

5 スタート を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

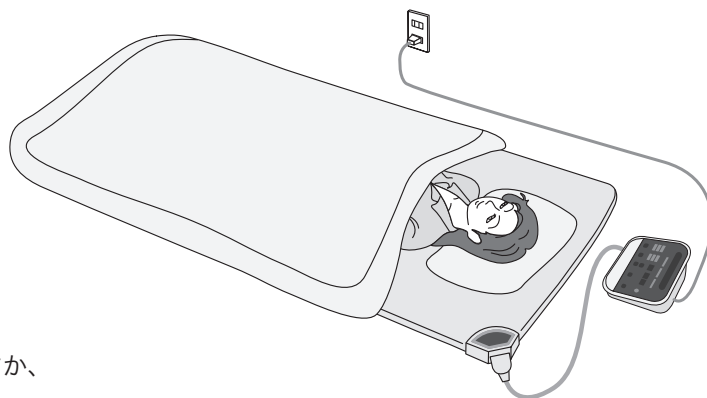
②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、
治療が開始されたことを確認

※スタート表示が点滅の状態で5分経過すると本体の表示が暗くなります。表示はいずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

6 頭をプロテクター側にして 温熱・高周波マットに横になります。

※本体の表示は治療開始後、約10秒で暗くなります。
さらに1分後、タイマー表示とスタート表示以外は消灯します。表示は、いずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

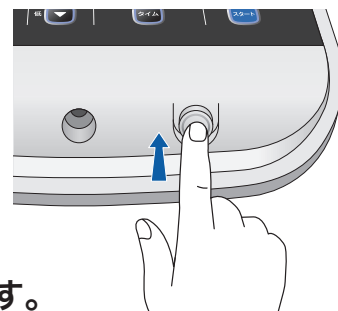
※治療の途中でも温熱レベルと治療時間の変更ができます。
※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。



7 タイマー表示が「00」時間「00」分になると スタート表示以外が消灯して、出力が自動的に切れます。

スタート表示が点滅状態になります。

続けて治療を行う場合は電源スイッチ以外のスイッチを一度押して表示が明るくなった事を確認し、再度 2 から始めてください。



8 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。

9 電源が切れていることを確認してから、電源コードAのプラグをコンセントから抜き、各接続部を外します。

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

温熱・高周波マット
 を使用する場合（別売オプション品）

交互モードの操作方法

高周波療法と温熱療法の交互治療を行います。

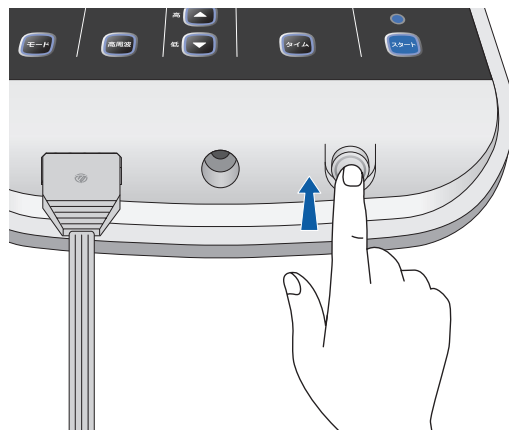
eスリープ機能

温熱モードでは、あらかじめ決められたプログラムにより、自動で温熱出力が調整され、治療開始と終了前は設定した温熱レベルよりも温度が上がります。→P.15参照

1 電源スイッチを押して、電源を入れます。

ブルーLED、導子識別表示「マット」、治療モード表示、高周波レベル表示または温熱レベル表示が点灯し、タイマー表示とスタート表示が点滅します。

ご購入後に初めて電源を入れた場合の初期設定は、治療モード表示：「温熱」、温熱レベル表示：「01」、タイマー表示「04時間00分」が表示されます。2回目以降の場合、前回ご使用された設定が表示されます。



2 **モード** を押して交互を選択します。

①治療モードスイッチを押し、交互モードを選択

治療モードスイッチを押すたびに治療モード表示が次のようになります。「温熱」→「交互」→「高周波」



②交互モードが選ばれ、交互モード表示が黄色に点灯していることを確認



3 **高周波** を押して出力する高周波のレベルを選択します。

①高周波レベルスイッチを押し、出力する高周波のレベルを選択

高周波レベルスイッチを押すたびに高周波レベル表示が次のようになります。「弱」→「中」→「強」



出力する高周波のレベルは次のようになります。（実効値）
弱：350V 中：500V 強：800V

②選択した高周波出力のレベルの表示が、緑色に点灯していることを確認



**治療に際して
 のご注意**

- 使い始めのうちは「弱」に設定し、徐々に身体を慣らしていく事が大切です。
- 強い出力で長時間使用されても効果が増すというものではありません。

温熱・高周波マット
を使用する場合（別売オプション品）

交互モードの操作方法

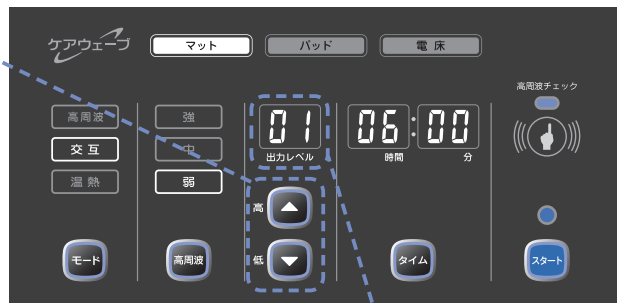
4 高 ▲ 低 ▼ を押してお好みの温熱レベルを設定します。

①温熱レベルスイッチを押し、お好みの温熱レベルを設定

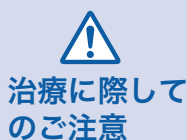
温熱レベルは1～20まで設定できます。

高 ▲ …温熱レベルを高くします。（長押しでも設定できます）

低 ▼ …温熱レベルを低くします。（長押しでも設定できます）

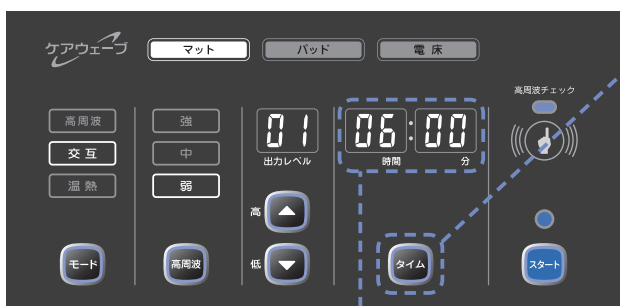


②設定した温熱レベルが表示されていることを確認



- 温熱レベルが高すぎると汗をかいたり、喉がかわいたり、治療終了後、だるいことがあります。温度調節は控えめに設定してください。
- ご購入後に初めてお使いになる場合や長期間使用しなかった場合、温度が上がりにくいことがあります。機器の異常ではありません。数時間、予熱通電してから使用してください。

5 タイム を押して治療時間を設定します。



①タイムスイッチを押し、治療時間を設定

交互モードでは次の治療時間が設定できます。

・6時間・7時間・8時間・9時間・10時間・11時間・12時間

タイムスイッチを押すとタイマー表示が次のように変わります。
「6時間」→「7時間」→「8時間」→「9時間」→「10時間」
→「11時間」→「12時間」→「6時間」→……

※タイムスイッチは長く押し続けても時間は変化しません。

②設定した治療時間が、表示されていることを確認

6 スタート を押して治療を開始します。



①スタートスイッチを押し、治療を開始

②スタート表示の青色が点滅から点灯に変わり、治療が開始されたことを確認

※スタート表示が点滅の状態で5分経過すると本体の表示が暗くなります。表示はいずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

※治療開始から2時間は温熱のみ出力されます。

※治療中に「カチッ」というリレー音がありますが、本体の故障ではありません。

温熱・高周波マット
 を使用する場合（別売オプション品）

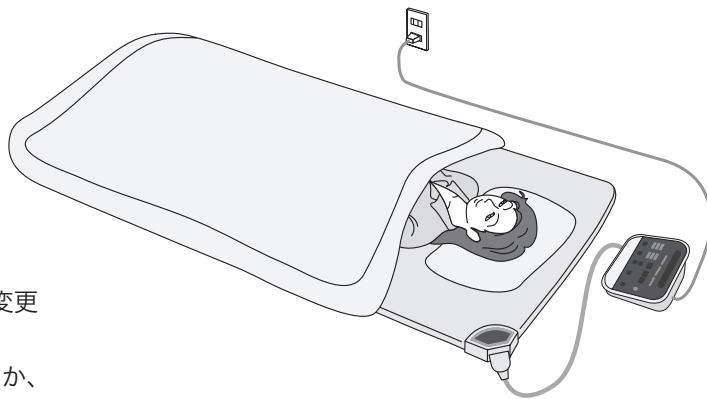
交互モードの操作方法

**7 頭をプロテクター側にして
 温熱・高周波マットに横になります。**

※本体の表示は治療開始後、約10秒で暗くなります。
 さらに1分後、タイマー表示とスタート表示以外は消灯します。表示は、いずれかのスイッチを押すと再度明るくなります。

※治療の途中でも高周波レベル、温熱レベル、治療時間の変更ができます。

※治療を途中でやめる場合は、治療モードスイッチを押すか、電源スイッチを押して電源を切ってください。



治療中に高周波タッチチェッカーに指を置くと、高周波の出力を確認することができます。正常に出力されていると、高周波チェック表示が点灯します。

※出力の確認をするときは、高周波の出力レベルを「中」にしてください。

※治療開始2時間と、その後、温熱が出力されている時間は高周波の出力の確認はできません。

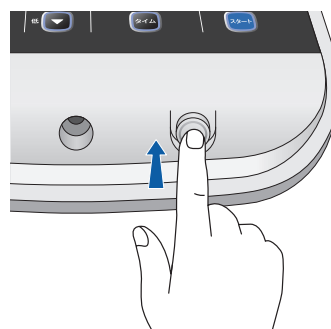


**8 タイマー表示が「00」時間「00」分になると
 スタート表示以外が消灯して、出力が自動的に切れます。**

スタート表示が点滅状態になります。

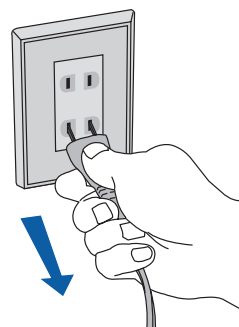
続けて治療を行う場合は電源スイッチ以外のスイッチを一度押して表示が明るくなった事を確認し、再度 **2** から始めてください。

**9 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、
 電源を切ります。**



**10 電源が切れていることを確認してから、
 電源コードAのプラグをコンセントから抜き、
 各接続部を外します。**

※次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。



故障かな?と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状		調べるところ・原因・対策
交互モード 温熱モード 高周波モード	電源が入らない	電源コードAのプラグが100Vコンセントに差し込まれていますか?
	タイマー表示が ■■■■になる (エラー表示)	治療中に本体からプラグが抜けていませんか? 本体の電源スイッチを切り、プラグを差し込み直してください。
温熱モード・交互モード	温度が低い	低い温熱レベルのまま使っていませんか? 温熱レベルを現在選択されているレベルより高めに合わせてください。
		温熱・高周波マットが湿っていませんか? 温熱・高周波マットが吸湿していると温度は低めに感じます。天気の良い日に陰干ししてください。 または、予熱通電を4時間ほど温熱レベル「20」で行ってください。湿気が徐々に取れ、温度が上がっていきます。
	温度が高い	高い温熱レベルのまま使っていませんか? 温熱レベルを現在選択されているレベルより、低めに合わせてください。

●コード類は、定期的に点検・交換してください。



注意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原因・対策
電源コード A などが傷んでいる	電源コードAやプロテクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源コードAのプラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コード A やプロテクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

定期点検を受けましょう!

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的(1年を目安)に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し交換してください。
※使用状態により異なりますので、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

お客様センター

ご不明な点がございましたら
お気軽にお電話ください。

TEL. 048(254)1019

受付: 平日 午前10時~午後4時30分(土・日・祝日休み)

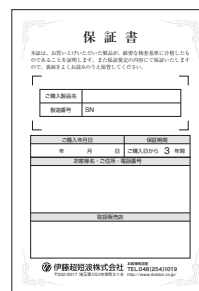
※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

お客様安心サービス

保証書とユーザー登録カードについて

保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

ユーザー登録カード ご記入は正確で間違いとある書きください。

フリガナ	ご購入年月日		
ご氏名	年	月	日
生年月日	年	月	日
性別	性別	性別	性別
ご住所	〒		
電話番号	FAX		
email			

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。
本プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。http://www.itolator.co.jp/

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様センター

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後4時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステム ISO 13485、環境マネジメントシステム ISO 14001(工場)を取得しています。

健康セミナー

とってもあったかい集いにぜひご参加ください

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にお集まりください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。



製造販売元 **伊藤超短波株式会社**

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(254)1015
https://www.itolator.co.jp/

コンシューマー営業部：営業所

東日本営業所 ☎048(254)1016

西日本営業所 ☎082(292)3320

販売店